



本校の前身、県立金沢董台高等学校の開校時に発表された逍遙歌（しょうようか：学生歌などの意）「真実（まこと）のしるし」の一節より拝借いたしました。

今年はとても暑いですね。図書館は、クーラーもついていてとても涼しいです。さて、みなさんはこの夏をどう過ごす予定ですか？私のオススメは、新しい本も入った図書館でゆったり過ごすことです。みなさんも立ち寄ってみてはどうですか？

夏休み中の図書館利用について

【 貸出について 】

貸出冊数：無制限
貸出期間：9月6日(金)まで
※8月23日(金)までの
貸出分が対象です。

【 休館日（予定） 】

・土・日・祝日および
8月5日(月)～16日(金)まで
休館日以外は、8：30～16：30で閉館します
※4F学習室も含まれます。
※開館日、閉館時間は変更することがあります。



『さがしもの』 角田光代

この本は、病床のおばあちゃんに頼まれた1冊を求めて奔走した少女のお話や、売った本と思わぬ再会を果たすお話などの9つの物語が載っています。全てのお話が本と関連しているおもしろい短編小説です。

金商生の おすすめ本

『変な家』 雨穴

僕がおすすめする本は、『変な家』です。『変な家』は、とても怖くゾッとする不気味な怖さがあります。読みすすめるごとに謎が解かれていき、ハラハラしながら読みすすめることができます。

『りんごかもしれない』 ヨシタケシンスケ

ヨシタケシンスケさんの書く絵は、とてもかわいく、見ているだけでほっこりします。また、1つのりんごに足して色々な想像をしている登場人物の姿は絵だけ見ても文字を読んでもおもしろいです。活字を読むことが苦手な方にとてもおすすめです。

『アルジャーノンに花束を』 ダニエル・キイス

『アルジャーノンの花束を』は、1950年代のアメリカニューヨークを舞台とした、突然天才となった知的障害を持つ主人公の悲哀を、当時の障害児のおかれた状況や科学、恋愛、友情を交えて繊細に描いた作品です。子どもの心を持った優しい性格の青年チャーリーが、知能を飛躍的に向上させるという脳の手術を受けたことで知ってしまう理想と現実の違い。ストーリーが進むごとに切なさや不安で胸がいっぱいになりました。

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』

汐見夏衛

主人公の百合が家出し目を覚ますと、戦時中の日本にタイムスリップし、特攻隊員の彰と出会うことで、百合の考え方が変化していくところがみどころです。